

保育所等における保育の質の確保・向上について

2018/08/02

全国私立保育園連盟

保育の質の確保・向上 PT

全国私立保育園連盟（以下、全私保連）では、今回の検討会の重要性に鑑み、保育の質の確保・向上プロジェクトチーム（以下、PT）を編成して、以下の通り、ヒアリングに向けた議論をまとめました。

また、全私保連の活動の中から保育の質の確保・向上に関連すると思われる研修会の開催や各部、各委員会等の平成元年からの取組を一覧表にし、その中でとくに「保育の内容の質」の議論に供すると思われる具体例も、別添資料により一部紹介させていただきます。

〈めざすべき保育の質〉

1. PTは、改訂された保育所保育指針等に明記された「幼児教育において育みたい資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」¹や、「保育内容のイメージ」²、が求めるカリキュラムマネジメントとその実践・評価によって得られる保育の質の確保・向上こそが、全私保連加盟園がめざすべき保育の質であることを確認しました。

〈保育者主導型ではない保育〉

2. 〈目指すべき保育の質〉は、「環境を通した教育」³や、「遊びを通しての総合的な指導」⁴などがより具体的な保育の方法となると思われます。汐見稔幸氏は、「『環境を通した教育』とは何かを改めて考える必要があるのですが、ここでは簡単に『保育者主導型』保育の反対⁵、と考えておけばいいと思います。」⁶と述べておられますが、加盟園の保育者にはとてもわかりやすい表現であると、PTでは理解しました。

〈21世紀型保育〉

3. 大豆生田啓友氏は、倉橋惣三の研究から8つのキーワードを抽出し、それに21世紀型

¹ 汐見稔幸氏が『発達154号』（ミネルヴァ書房）の「特集 保育の場から考える新指針・新要領」の巻頭言にこれらについて詳述されています。

² 文科省「幼児教育部会における審議のとりまとめ」2016

³ 汐見氏前出

⁴ 文科省前出

⁵ 全私保連では、子ども主体の保育、ひとりひとりを大切にする保育、心の育ちを支える保育等の文言で提案。

⁶ 汐見氏前出

保育のめざす保育を対応させた8つの「21世紀型保育キーワード」⁷を描きだし、それぞれにすぐれた保育実践30例を紹介して、「環境を通した教育」や「遊びを通しての総合的な指導」の実例を紹介されていますが⁸、これらはまさに、「保育者指導型の保育の反対」そのものだと、PTでは理解しました。

〈往還型保育研修〉

4. 保育所保育指針等の改定（改訂）を踏まえた21世紀型保育を取り入れるためには、保育現場は十分な研修や研究を重ねなければなりません。加えて、それぞれの保育現場は、保育者主導型ではない子ども主体の保育、あるいは21世紀型保育を学んでもそれを実践に生かすためには、それぞれの現場に生じる課題の解決が必要になります。それでなければ、先行研究に示された事例をなぞるだけの保育になってしまいます。それを回避するためには、研修を外部研修と内部（園内）研修に分けて、受講者は自園の課題を話しあって資料化し、それを持参して外部研修に臨みます。外部研修担当者は持ちよられた課題を事前に整理して、研修内容の項目を提示します。参加者は自園の課題によりちかい内容を選択して受講します。さらにそれを持ち帰り園内研修によって職員間で共有し、その結果を次の外部研修において報告します。こうした外部と内部の研修の往還によって、保育者自身が主体的・応答的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実践者になることが必要であることを、PTでは共有しました⁹。

〈園経営の見直し〉

5. 園のマネジメントの変更も余儀なくされる現場もあることが予想されます。例えば、ピラミッド型リーダーモデルから分散型リーダーモデルへマネジメント手法を転換するなどです。これに関しては、全私保連 保育・子育て総合研究機構は、「パッチワークキルト型マネジメント」¹⁰の実践事例などを紹介してきました。

⁷ ①心もち—子どもを見る目、②生活・遊び—生活の真の面白味、③誘導保育—協同的な学び・プロジェクト・アプローチ、④自然・環境—センス・オブ・ワンダー、⑤親・地域—共に育ち合うコミュニティの生成、⑥保育者—保育者の専門性と同僚性、⑦小学校との接続—アクティブ・ラーニングのスタート、⑧多様な子ども—すべての子どものハビネスに繋がる保育

⁸ 大豆生田啓友『倉橋惣三を旅する 21世紀型保育の探究』フレーベル館 2017 ※別添資料参照

⁹ 全私保連 保育子育て・総合研究機構研究では、平成29年度より「保育者の質的キャリアアップ、キャリアパスに関する調査研究」を大豆生田啓友氏に委託しています。

¹⁰ 園長という縦糸と主任という横糸で織られた1枚の布による園経営は、ピラミッド型マネジメントにはふさわしいかもしれませんが、ちょっとした傷でさっと布が裂けてしまう危険があります。それに対して、各クラスや園内に設置された小委員会、プロジェクトなどを継ぎ接ぎして作られたパッチワークキルトによる分散型マネジメントは、端布一枚一枚の模様が生かされ、しかもちょっとした傷はその端布の範囲で留めることができます。また、主体的・応答的で深い学びにも適しており、同僚性の涵養にも有効です。パッチワークキルト型マネジメントでは、園長と主任は端布を縫いあわせる針と糸です。

全私保連の取り組み(研修・研究・調査)平成元年から平成30年度まで

年度\各部・各委員会	保育国際交流運営委員会		保育・子育て総合研究機構研究企画委員会	全私保連運動推進委員会	調査部		研修部	
平成元年(1989)					調査	全国保育所市町村行財政実態調査	保育総合	「子どもの人権と保育ー私たちの保育指針を考えるー」
平成2年度(1990)	保育国際 セミナー	国際化と保育園			調査	平成2年度一時的保育事業実施状況調査	保育総合	「福祉国家への展望と保育園ー少子化時代を超える道ー」
	保育総合 分科会	北欧3国視察研修報告						
平成3年度(1991)	保育国際 セミナー	スウェーデンの社会と保育			調査	全国市町村保育料実態調査	保育総合	「揺れ動く家族ーファミリーサポートの必要性と保育園の役割ー」
	保育総合 分科会	ヨーロッパ視察研修報告						
平成4年度(1992)	保育国際 セミナー	外国児童受け入れ					保育総合	「ー揺れ動く家族Ⅱー子育てがつなぐ家庭・地域・保育園」
	全国大会 分科会	国際理解と保育						
	21世紀セミ ナー	多文化時代の保育と未来						
平成5年度(1993)	全国大会 分科会	国際化の中の保育園			調査	全国自治体保育予算状況調査	保育総合	「子どもの未来と保育制度ー変革の時代に私たちの保育園像を求めてー」
	保育国際 セミナー	国際理解と保育の展開				民間給与等改善費実態調査		
平成6年度(1994)	保育国際 セミナー	デンマークの保育			調査	全国市町村保育所行財政実態調査	保育総合	「子どもの権利条約と保育制度」
	全国大会 分科会	国際化の中の保育園						
	保育総合 分科会	地球家族と保育指針						
平成7年度(1995)					調査	全国都道府県監査事前資料調査 特別保育事業実施状況調査	保育総合	「小さな実践から始める大きな歩ー子ども子育てを考える地域プランと保育園の役割ー」
平成8年度(1996)	保育国際 セミナー	「地球家族」日本の子育て文化			調査	延長保育事業に関する実態調査	保育総合	「小さな実践から始める大きな歩ー子どもと子育てを支える地域プランと保育園の役割-」
	保育総合 分科会	「地球家族」レτζジョ・エミリアの実践				指導監査に関する調査		
平成9年度(1997)	保育国際 セミナー	「地球家族」下町から世界へ発信			調査	措置費支弁額・徴収金等調べおよび保育料実態調査	保育総合	「新しい時代への転換は「保育園の質」を分母で考えようー選ぶ・選ばれる時代の子育て支援と保育園-」
	保育総合 分科会	海外研修報告 ドイツ・カナダ				保育園におけるインターネットの利用状況に関するアンケート		
				全国市町村保育所保育制度検討委員会中間報告検討に向けた過疎地保育所に関する実態調査				
平成10年度(1998)	保育国際 セミナー	地球家族・多文化保育について			調査	児童福祉法の改定に伴う入所手続き等の施行状況に関する調査	保育総合	「保育園から拓く子育て文化の未来ー保育園は出会いとふれあいの安心ひろば-」
	保育総合 分科会	子ども主体の保育スウェーデン				全私保連会員園の基礎調査		
				自治体単独による障害児保育補助事業に関する調査				
平成11年度(1999)	保育国際 セミナー	地球家族・保育園多文化教育			調査	少子化対策臨時特例交付金に関する取り組み状況調査	実践セミナー	「保育の質を高めるために…どう企画しますが「園内研修」
	保育国際 セミナー					施設設備・老朽化等に関する実態調査	保育総合	「父母と共に創る安心と喜びの子育てパートⅡ-子育ての今を支え明日につなぐ認可保育園の役割-使命-」
平成12年度(2000)	全国大会 分科会	多文化教育と人間理解			調査	平成12年度地方自治体保育所関係予算状況調査	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造ー経営・保育内容・地域への発信・職場づくり」
	保育総合 分科会	保育者のハートってなんだろう					実践セミナー	「保育の質を高めるために…どうすすめていますか「園内研修」
							保育総合	「新しい時代の保育観を創造するー保育園から新しい育児力の再生を-」
平成13年度(2001)	全国大会 分科会	コンフリクト・リソリューション			調査	各自治体における待機児童実態調査	実践セミナー	「保育の質を高めるために…保育を語り合える「園内研修」に」
	保育総合 分科会	コンフリクト・リソリューション					保育総合	「21世紀を担う子育て環境づくりをー孤立・競争の子育てからー協働・共生の子育てへ-」
平成14年度(2002)	保育総合 分科会	葛藤を克服するためにーコンフリクト・リソリューション 愛と平和を伝える保育のはじめの一步			調査	保育園における待機児童に関する実態調査	実践セミナー	「保護者とのコミュニケーション…どうハートナ・シップを築くのか」
		保育総合					「子どもが輝く・大人も輝くーみんなで考えようーこれからの保育-」	
平成15年度(2003)	全国大会 分科会	国際交流ーわたしが変わる、保育がかわるー ～海外の保育を学んでみたら～			調査	全国高校生向けアンケート	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造Ⅱー経営・保育内容・地域への発信・職場づくり」
	保育総合 分科会	葛藤を克服するためにーコンフリクト・リソリューション 保護者の「苦情」をプラスに上げとめられる？					実践セミナー	「保護者とのコミュニケーションを深めるー家族理解と保育者の専門性」
							保育総合	「子どもの危機・保育の危機と保育園ー人と人が紡ぎ合う豊かな保育の質を求めて-」
平成16年度(2004)	全国大会 分科会	親育ちのプログラムを考えよう～ニュージーランドから学ぶ～			調査	地域の子育てグループへのアンケート	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造Ⅲー経営、園の活性化と園長の役割、安全・危機管理」
	保育総合 分科会	葛藤を克服するためにーコンフリクト・リソリューション どうする？子どもの葛藤・保護者の苦情・保育者の悲鳴				実践セミナー	「保護者とのコミュニケーションを深めるー家族理解と保育者の専門性」	
						保育総合	「子どもの危機・保育の危機と保育園ー変革の社会の中でこれからの保育を考えよう-」	
平成17年度(2005)	全国大会 分科会	親は子どもにとって最初で重要な教師 ～ニュージーランドの保育と子育て支援～			調査	保育園児の兄弟数に関する調査	実践セミナー	「今、求められている保育園での「親支援」
	保育総合 分科会	葛藤をのりこえる力を高めようーコンフリクト・リソリューション かみつき・ひっつきは世界の子どもに共通のコミュニケーション？				保育園における「気になる子」に関する調査(プリテスト)	保育総合	「戦後60年の保育と課題ー明日からの保育活動の展望を拓くために-」

全私保連の取り組み(研修・研究・調査)平成元年から平成30年度まで

年度	各部・各委員会	保育国際交流運営委員会	保育・子育て総合研究機構研究企画委員会	全私保連運動推進委員会	調査部	研修部						
平成18年度(2006)	保育国際 セミナー	地球家族・ネットワーク・交流会	委託研究	中間報告「新しい保育所保育指針作成への提言」	子育て ルネッ サンス シンポ ジウム	再考乳幼児期の保育/教育とは何か? 日本の“子育て力再生”を考へる	調査	保育園における発達支援を要する子どもの実態調査	実践セミナー	「職種をこえた連携が生みだす新しい保育実践」		
	全国大会 分科会	日本の子育てのゆくえは?～子育てでルネッサンス運動をひろげるために～(ルネッサンス運動の分科会に協力)							保育総合	「今、保育実践を通して考える「子育てでルネッサンス」 子ども自身の生きる力・家庭の子育て力 子どもと家庭を支える地域」		
	保育総合 分科会	「多文化理解教育」からコミュニケーション力を高める							NEWS LETTER	No.1 「研究機構」の現状とこれから No.2 保育カリキュラムと保育評価の方法を探る		
平成19年度(2007)	保育国際 セミナー	地球家族・ネットワーク・交流会	委託研究	「乳幼児の育児と生活に関する実態調査」	子育て ルネッ サンス シンポ ジウム	再考乳幼児期の保育/教育とは何か? 日本の“子育て力再生”を考へる 乳幼児期の育ちと保育・教育に求められるもの	調査	保育園と家庭における相互理解に関する調査Ⅱ(4歳児版)	実践セミナー	「組織的な園運営について考える」		
	全国大会 分科会	フィンランドの保育環境～世界一の「学力」をささえるもののか考え方～							NEWS LETTER	No.3 研究企画委員及び研究機構に関与する最近の動き No.4 保育の質を高めるために ニュージーランドの評価方法を体験で学ぶ「公開セミナー」をふりかえって No.5 園長による内部研修(園内研修)を考える	保育総合	「原点回帰!そして新たな転換期「子育てでルネッサンス」 子どもたちの未来を見つめ将来に向けた確かな視点をもとう」
	保育総合 分科会	コンフリクト・リソリューション トラブルを解決する力							「次世代育成支援後期行動計画策定についての調査研究」 「1、2歳児保育の現状調査」			
平成20年度(2008)	保育国際 セミナー	地球家族・ネットワーク・交流会→外国籍の保護者、保育士の声を聞く	委託研究	「次世代育成支援後期行動計画策定についての調査研究」 「1、2歳児保育の現状調査」	子育て ルネッ サンス シンポ ジウム	再考乳幼児期の保育/教育とは何か? 日本の“子育て力再生”を考へる 子育てでの原点を振り返る～一人ひとりの子どもの思いを受け止め、保育者の願いを伝える保育を～	調査	保育園の人材確保・育成・処遇等に関する実態調査	実践セミナー	「保育の評価と保育者の学びについて考える…保育所保育指針改定をうけて」		
	全国大会 分科会	子どものありのままをみる保育の視点を学ぶ							NEWS LETTER	No.6 保育者が育つ保育の場づくりを目指して No.7 「ワークブック1」で園内研修を試してみました?…保育の評価、現状を踏まえて、研究機構から一つの具体的提案	保育総合	「すべての子どもの健やかな育ちを求めて ー今大切にしたいものー」
	保育総合 分科会	トラブルを解決する力(コンフリクト・リソリューション)ーウィン・ウィンの関係とは							No.8 保育理念に沿った「保育過程」をつくりたい			
平成21年度(2009)	保育国際 セミナー	コンフリクト・マネジメント パート1 ー園長・主任・保育士のコミュニケーションカアップ・ワークショップ	委託研究	「次世代育成支援後期行動計画策定について調査研究」	子育て フォーラ ム	人間の営みとしての子育てを考える	調査	公益法人改革に関するアンケート	園長セミナー	「明日につながる好機 Are you ready? (※保育所の社会的責務を遂行する為に必要な園長の羅針盤と哲学)」		
	全国大会 分科会	おしゃれなフランスの保育事情(3歳から始まる子育て支援)							NEWS LETTER	No.9 めぐりめぐる季節の中でー今、保育園は、研究機構は… No.10 保育の質を高める体制と研修に関する研修(2) No.11 「『保育指針』を実現する保育園の条件」と保育研究の展望	実践セミナー	「保育指針・保育課程について学び合う」
	保育総合 分科会	「保育環境評価スケール」を保育の質向上のためにどのように使うか							子育て ルネッ サンス シンポ ジウム	再考乳幼児期の保育/教育とは何か? 日本の“子育て力再生”を考へる	保育総合	「今、改めて保育という文化・環境を見つめ直す…すべての人々が子どもと子育てにかかわりをもつ協働の社会をめざして」
平成22年度(2010)	保育国際 セミナー	コンフリクト・マネジメント パート2 ー園長・主任・保育士のコミュニケーションカアップ・ワークショップ	委託研究	「次世代育成支援後期行動計画策定について調査研究」 「日本の保育・子育てのグランドデザイン(Ⅱ)」	子育て ルネッ サンス シンポ ジウム	これからの保育に必要なこと	調査	これからの保育・子育て支援の進め方についての調査 幼稚園と保育園、認定こども園の将来像についての調査	園長セミナー	「めざせ! BEST INTEREST(最善の利益)」		
	全国大会 分科会	イギリスの乳幼児期戦略は日本の保育施策と何が違うのか…平成21年度イギリス保育視察研修で学んだことをもとに							NEWS LETTER	No.12 日本の保育・子育てのグランドデザイン No.13 日本の保育・子育てのグランドデザイン(Ⅱ) No.14 『保育者の可能性 No.15 「子ども主体」の保育を徹底させる仕組み…ドイツ・ミュンヘンの幼稚園、保育園の視察から思うこと	実践セミナー	「日々の実践の中で高めあう「保育の質」」
	保育総合 分科会	世界の乳幼児期の保育・教育はいま何に関心が集まっているのか…海外研修10年の振り返り							No.16 ニュージーランドの「保育評価」の考え方について No.17 「こども指針」(仮称)への提言 子どもの育つ権利・環境	保育総合	「どうする日本の子育て…主体者として育ち合うために」	
平成23年度(2011)	保育国際 セミナー	コンフリクト・マネジメント パート3 ー保育に活かすコミュニケーションカアップ・ワークショップ	委託研究	ブックレット「保育の質を高めるための取り組みの具体的提案」 No.18 1、2歳時の発達…「自我の芽生え」を中心に No.19 「研究機構」の6年とこれから No.20 保育における学びの物語を通した子ども観の再考…「『さかな』をめぐる学びの物語」から No.21 幼児期から児童期にかけての教育の構造等…幼少の教育を「つながり」としてとらえる No.22 一人で育てる子育てから、みんなで育てる子育てへ No.23 「ワークシート」第1号は夏を目標に	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	Ⅰ「新システムとこれからの保育」 Ⅱ「こども指針ワーキングチームから見えてきたこと～新システムへの期待と課題～」	調査	最低基準の地方委譲に伴う条例化の動向調査 保育士養成校・大学等における保育士養成の実態調査 東日本大震災関連アンケート	園長セミナー	「はじめよう!新時代を見据えた園づくり」		
	全国大会 分科会	今再びスウェーデンに学ぶ、必要に応じた平等を見据える視点							NEWS LETTER	実践セミナー	「日々の実践の中で高めあう「保育の質」」	
	保育総合 分科会	保育国際交流運営委員会発 新しい保育デザイン							保育総合	「『希望』という羅針盤を携えて あらためて、保育園を子どもの育ちを守る皆に!…持続発展可能な社会の構築に寄与するために」		
平成24年度(2012)	保育国際 セミナー	コンフリクト・マネジメント パート4 ー保育に活かすコミュニケーションカアップ・ワークショップ	委託研究	No.24 赤ちゃんの社交能力や助け合い能力 特別企画・秋田喜代美氏へのインタビュー Part1公教育の意義(4つの面から)と学校教育方法 No.25 特別企画・秋田喜代美氏へのインタビュー Part2社会全体で深め合う「公教育と保育」に No.26	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① Ⅰ「子どもの育ちを支える運動～自己肯定感を育む～」 Ⅱ「生きる力を育む保育」 ② Ⅰ全私保連 子ども育ちを支える運動ー自己肯定感を育む保育実践ー Ⅱ子どもの心の育ちを支える保育を目指してー子ども一人ひとりに「自己肯定感」を育む必要があるー	調査	乳幼児教育～保育現場における乳幼児教育を考える～	園長セミナー	「新システム時代を見据えて、今こそ保育ビジョンの再構築を!…子どもと親と保育者が育ち合う園づくりを目指して」		
	全国大会 分科会	自尊感情や自己肯定感を育てる保育…ハンガリーの保育実践から学ぶ							NEWS LETTER	実践セミナー	「保育の専門性を新たな視点で考える」	
	保育総合 分科会	子どもたちにどんな生き方をしたいか…保育の進しるべとしてのESDを学ぶ							保育総合	「子どもの育ちを豊かにするために…今、求められていること」		
平成25年度(2013)	保育国際 セミナー	コンフリクト・マネジメント パート5 ー葛藤(違い)を整理してWinWinの関係を築くための実践を学ぶ研修です	委託研究	報告書「1、2歳児保育の現状と課題」ー子どもが主人公になれる保育ー No.27 特別企画・保育のグランドデザイン…序にかえてPart1 No.28 特別企画・保育のグランドデザイン…序にかえてPart2 No.29 「子ども理解」を語り合い/分かち合いませんか No.30 『わくワークシート1-1』からの学びin沖縄…子ども理解のおもしろさの共有	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① 自己肯定感を育む保育実践 ② ③ ④ ⑤	調査	乳幼児教育～保育現場における乳幼児教育を考える～	園長セミナー	「学ばう!!先輩が拓いた道に 描こう!!園の未来像」		
	全国大会 分科会	自尊感情や自己肯定感を育てる保育…ハンガリーの保育実践から学ぶPart2							NEWS LETTER	実践セミナー	「“子どもの育つ力を支える保育”を考える＝インクルーシブの視点から＝」	
	保育総合 分科会	日本の子どもに豊かな保育環境を整えるために…「保育環境評価スケール改訂版」(ECERS-R)をいかに							保育総合	「子どもたちの未来のために 今こそ「保育のグランドデザイン」を!」		
平成26年度(2014)	保育国際 セミナー	信頼で結ばれる保育とは コンフリクト・マネジメント パート6 ー葛藤(違い)を整理してWinWinの関係を築くための実践を学ぶ研修です	委託研究	No.31 保育総合研修会分科会報告「『保育のグランドデザイン』を描くために…今大切にしたい保育(教育)とは何か」 No.32 No.33 一本の線から、美しさと奥行きのある世界へ No.34 将来の家族と同時に、人類の存続を担う 子どもの育ちのグランド・デザイン	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	調査	子ども・子育て支援新制度セミナーにおいてマークシート調査 団体名称変更に関する調査	園長セミナー	「子どもの最善の利益を追求する園創り」		
	全国大会 分科会	自尊感情や自己肯定感を育てる保育…ハンガリーの保育実践から学ぶPart3							NEWS LETTER	実践セミナー	「“子どもを人としてみる”まなざし…体験を通して学ぶ」	
	保育総合 分科会	保育で活かす子どもの権利条約							保育総合	「今、あらためて、子どもの最善の利益を考える…すべての子どもが大事にされ健やかに成長できる社会を目指して」		
平成27年度(2015)	保育国際 セミナー	笑いながら人間関係の本質を学べるセミナー コンフリクト・マネジメント・パワーと異文化を考える パート7	委託研究	No.35 本物の教育観…乳幼児教育こそ本物の教区が可能 No.36 乳幼児の心の理解への新しい知見の始まり No.37 いま、何が大事なのかを語り合う その1 No.38 いま、何が大事なのかを語り合う その2	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	調査	職場定着に関する調査	園長セミナー	「新制度時代の保育と教育の在り方」		
	全国大会 分科会	自尊感情や自己肯定感を育てる保育…ハンガリーの保育実践から学ぶPart4							NEWS LETTER	実践セミナー	「これからの時代に求められる保育・教育の姿を「環境」の視点から考える」	
	保育総合 分科会	子どもの声を伝える保育(子どもの権利条約)							保育総合	「乳幼児期の学びとは何か～これからの保育が担うべき福祉と教育～」		
平成28年度(2016)	保育国際 セミナー	笑いながら人間関係の本質を学べるセミナー コンフリクト・マネジメント・パワーと異文化を考える パート8	委託研究	「Q、1、2歳児保育に関する調査研究事業(「音を含めた人間の応答の研究」)」 No.39 日本保育学会第69回 自主シンポジウム報告 No.40 グランドデザイナー各園、各様の思いや工夫	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① ② ③ ④ ⑤	調査	給食に関する調査 保育士養成校在校生における求職傾向調査	園長セミナー	「園長が取り組む“保育のグランドデザイン” ～ 保育を哲学し、新たな時代へのビジョンを描くために ～」		
	全国大会 分科会	一人ひとりを大切にする具体的な保育…ハンガリーの保育実践から学ぶPart5							NEWS LETTER	実践セミナー	「保育の記録を通して日々の保育を見つめ直す ～明日からの保育を楽しむために～」	
	保育総合 分科会	呼びかけ向き合ってもらえる権利を考える(子どもの権利条約)							保育総合	「子ども・保護者・保育者が輝く日本の保育を求めて～実践と研究の交わるどころ～」		
平成29年度(2017)	全国大会 分科会	一人ひとりを大切にする具体的な保育…ハンガリーの保育をヒントにした日本での保育実践	委託研究	近代以前の子どもの保育に関する調査研究 委託研究者:松沢裕作氏(慶応義塾大学) 近代以前の子どもの保育に関する調査研究 委託研究者:太田素子氏(和光大学) ローカル・ガバナンスによる地域福祉に関する調査研究 委託研究者:久保健太氏(関東学院大学)	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① ② ③ ④ ⑤	調査	給食に関する調査 保育士養成校在校生における求職傾向調査	園長セミナー	「園長のリーダーシップこそ明日への第一歩」		
	保育総合 分科会	スウェーデンの保育制度と子どもの最善の利益							委託研究	実践セミナー	「新指針・要領を保育実践に生かすには…保育の中の「幼児教育」と日々の保育を照らし合わせて」	
	保育総合 分科会	スウェーデンの保育制度と子どもの最善の利益							委託研究	保育総合	「保育・教育の原点、そして未来 …指針・要領の改定(訂)の意義とキャリアパス構築を見据えて」	
平成30年度(2018)	全国大会 分科会	保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領を実施するための一人ひとりを大切にする具体的な保育…ハンガリーの保育をヒントにして	委託研究	倉橋惣三から津守真へ 実践と思想を結ぶ保育学の研究 委託研究者:西隆太郎氏(ノートルダム清心女子大学) 「自由な主体」が育つための保育実践に関する調査研究 委託研究者:山竹伸二氏(大阪経済法科大学) 人口減少社会における保育を支える地方自治体のあり方に関する研究 委託研究者:伊集守直氏(横浜国立大学)	子どもの育ちを支える運動シンポジウム	① ② ③ ④ ⑤	調査	ノーコンタクトタイム調査を実施予定	園長セミナー	「保育をみんなで磨き高め合うためにー多面的な視点から園長のあり方を考えるー」		
	保育総合 分科会	保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領を実施するための一人ひとりを大切にする具体的な保育…ハンガリーの保育をヒントにして							委託研究	実践セミナー	「主体的な生活とあそびのあり方を探る～新指針・要領から読み解く 乳幼児期の「保育・教育の本質」を考える～」	
	保育総合 分科会	保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領を実施するための一人ひとりを大切にする具体的な保育…ハンガリーの保育をヒントにして							委託研究	保育総合	「保育・教育の原点、そして未来 …指針・要領の改定(訂)の意義とキャリアパス構築を見据えて」	

研修部 保育総合研修会メインテーマと保育を取り巻く社会情勢の変化対照

年度	研修会メインテーマ		保育を取り巻く社会情勢(保育所問題資料集年表より)
平成元年 (1989)	保育総合	「子どもの人権と保育ー私たちの保育指針を考えるー」	厚生省、人口動態統計の年間推計を発表ー出生率10年続き最低記録 「 保育所保育指針について 」(児発217号児童家庭局長通知)ー 保育所保育方針が25年ぶりに改訂される
平成2年度 (1990)	保育総合	「福祉国家への展望と保育園ー少子化時代を超える道ー」	新幼稚園教育要領、新学習指導要領告示(施行平成2年4月1日) 厚生省、平成元年人口動態統計発表ー出生数が3ヶ年連続最低記録を更新、女性がー生涯に産む子ども数の指標「合計特殊出生率」が1.57と史上最低 「一時的保育事業の実施について」(児発第508号児童家庭局長通知)今年度新規予算で、非定型的保育サービスと緊急保育サービスに分かれ、実施主体は市町村 経済企画庁、「家族観に関するアンケート調査報告」発表ー「夫婦が仕事をもち子どもをつくらない」58.2%、「出生率の低下の原因」として51.3%が「経済的負担が大きい」と回答 日本政府、児童の権利に関する条約に署名 健やかに子どもを生み育てる環境づくりに関する関係省庁連絡会議、「健やかに子どもを生み育てる環境づくりについて」発表ー対策として①子育ての負担を軽減する支援策②子育ての負担を社会が負担する支援策③男女共同参加型社会実現への施策をあげる
平成3年度 (1991)	保育総合	「揺れ動く家族ーファミリーサポートの必要性と保育園の役割ー」	児童手当法成立 児童福祉法施行規則第39条の2第1項第3号(保母を養成する学校その他の施設の修業科目及び履修方法)の一部改正 厚生省、児童家庭局企画課内に「児童環境づくり対策室」設置 「企業委託型保育サービス事業の実施について」(児発第946号児童家庭局長通知)ー児童手当制度の福祉施設事業として、企業と社会福祉法人との契約により日曜・祝祭日・深夜に保育サービスを実施
平成4年度 (1992)	保育総合	「ー揺れ動く家族Ⅱー子育てがつなぐ家庭・地域・保育園」	「社会福祉事業法及び社会福祉施設職員退職手当共済法の一部を改正する法律」(人材確保法)成立 総理府「国民生活に関する世論調査」ー「ゆとり」志向強まる 厚生省・外国籍の乳幼児とその保育状況について全国実態調査の方針ー各国語手引き書作成も
平成5年度 (1993)	保育総合	「子どもの未来と保育制度ー変革の時代に私たちの保育園像を求めてー」	厚生省「国民の社会福祉に関する活動への参加の促進を図るための措置に関する基本的な指針」、「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」告示 衆議院本会議、子どもの権利条約批准承認案全会一致で可決 衆議院解散、子どもの権利条約廃案 厚生省、「国民生活基礎調査」ー超核家族時代が到来、一所帯2.99人 中央児童福祉審議会家庭児童健全育成部会意見具申「児童の健全育成に関する意見」ー放課後児童対策、児童館の拡充等
平成6年度 (1994)	保育総合	「子どもの権利条約と保育制度」	「子どもの権利条約」発効 平成5年人口動態統計ー出生数120万人割、合計特殊出生率1.46人 阪神大震災ー兵庫県南部に震度7の直下型地震。死者5千人超す
平成7年度 (1995)	保育総合	「小さな実践から始める大きな一歩ー子ども子育てを考える地域プランと保育園の役割ー」	95年人口動態統計、出生数が21年ぶりに大幅増、合計特殊出生率も1.50と10年ぶりに上昇 厚生省児童家庭局保育課長通知ー「児童育成計画策定指針について」(地方版エンゼルプラン)
平成8年度 (1996)	保育総合	「小さな実践から始める大きな一歩ー子どもと子育てを支える地域プランと保育園の役割-」	総務庁発表ー子ども人口2,000万人割れ
平成9年度 (1997)	保育総合	「新しい時代への転換は「保育園の質」を分母で考えようー選ぶ・選ばれる時代の子育て支援と保育園-」	中児審保育部会ー最低基準等の見直しについて検討開始 厚生省、保母の名称を男女とも「保育士」に統一方針
平成10年度 (1998)	保育総合	「保育園から拓く子育て文化の未来ー保育園は出会いとふれあいの安心ひろば-」	改正児童福祉法施行●保育所入所方式、利用者の選択導入 97年度の乳幼児突然死症候群(SIDS)研究調査結果(厚生省)、「乳幼児突然死症候群(SIDS)対策に関する検討会」設置 97年合計特殊出生率1.39 厚生・文部両省「教育・児童福祉施策連携協議会」設置ー「子どもと・家庭を支援するための文部省・厚生省共同行動計画」策定へ
平成11年度 (1999)	実践セミナー	「保育の質を高めるために…どう企画しますか「園内研修」	中教審「幼児期からの心の教育のあり方について」(中間報告) 厚生省調査ー認可保育所への入所待機児約3万2千人 6省庁20団体による「児童虐待対策協議会」 厚生省「保育所設置認可にかかる規制緩和●保育所における社会福祉法人会計基準の適用●不動産貸与による保育所の設置認可●多様な経営主体の容認
	保育総合	「父母と共に創る安心と喜びの子育てパートⅡ-子育ての今を支え明日につなぐ認可保育園	「規制緩和推進3か年計画」再改定●認可保育所設置主体に民間法人、社会福祉法人の資産要件緩和、等厚生省262項目

研修部 保育総合研修会メインテーマと保育を取り巻く社会情勢の変化対照

年度	研修会メインテーマ		保育を取り巻く社会情勢(保育所問題資料集年表より)
平成12年度 (2000)	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造 経営・保育内容・地域への発信・職場づくり」	改訂保育所保育指針施行 中教審「少子化と教育について」提言●高校に保育体験導入、など 人口動態統計、出生率1.34 日本SIDS学会が乳幼児突然死に初の手引書
	実践セミナー	「保育の質を高めるために…どうすすめていますか「園内研修」」	
	保育総合	「新しい時代の保育観を創造する -保育園から新しい育児力の再生を-」	
平成13年度 (2001)	実践セミナー	「保育の質を高めるために…保育を語り合える「園内研修」に」	「地域子育てを支援する環境を整備するための文科省と厚労省の連絡協議会」設置 児童福祉法改正●認可外保育施設監督強化・保育士資格の法定化、効率的な保育サービスの提供促進 「待機児ゼロ作戦」
	保育総合	「21世紀を担う子育て環境づくりを -孤立・競争の子育てから 協働・共生の子育てへ-」	
平成14年度 (2002)	実践セミナー	「保護者とのコミュニケーション…どうハートナ・シップを築くのか」	学校週5日制スタート 出生率1.33(厚労省発表) 課長通知「認可外保育施設に対する届出制」の導入について(雇児保発第0712002号) 認可外保育施設規定施行 厚労省「少子化対策推進本部」設置 社保審に「児童虐待の防止等に関する専門委員会」設置 保育所入所の円滑化対策で定員変更
	保育総合	「子どもが輝く・大人も輝く -みんなで考えよう これからの保育-」	
平成15年度 (2003)	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造Ⅱ 経営・保育内容・地域への発信・職場づくり」	保育士登録申請受付開始 文科省・厚労省「幼稚園における放課後児童健全育成事業の実施について」通知 児童福祉法の一部改正●地域における子育て支援強化 児童福祉法施行規則の一部を改正する省令●幼稚園の預かり保育、児童福祉法上の子育て支援事業に 中教審、「食」に関する提言の中間まとめ●栄養教諭の資格創設 内閣府に全閣僚による「少子化社会対策会議」の設置(少子化対策推進関係閣僚会議は廃止) 社保審児童部会、「総合施設の在り方について」検討開始 中教審幼児教育部会、「総合施設の在り方について」検討開始 食育レポートー保育所における食育に関する指針
	実践セミナー	「保護者とのコミュニケーションを深める 家族理解と保育者の専門性」	
	保育総合	「子どもの危機・保育の危機と保育園 -人と人が紡ぎ合う豊かな保育の質を求めて-」	
平成16年度 (2004)	園長セミナー	「新しい時代への保育園の創造Ⅲ 経営、園の活性化と園長の役割、安全・危機管理」	幼保総合施設に関する合同検討会スタート(社保審児童部会・中教審幼児教育部会) 03年の出生率1.29 中教審教育課程部会に「豊かな心をはぐむ教育の在り方に関する専門部会」設置
	実践セミナー	「保護者とのコミュニケーションを深める 家族理解と保育者の専門性」	
	保育総合	「子どもの危機・保育の危機と保育園 -変革の社会の中でこれからの保育を考えよう-」	
平成17年度 (2005)	実践セミナー	「今、求められている保育園での「親支援」」	改正育児・介護休業法施行 食育基本法成立ー食育を進めるため保育所などに指針作成など義務づけ 厚労省まとめ 全国の児童相談所04年度児童虐待相談処理件数3万2,979件ー前年に比べ24％増 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針(骨太の方針)2005」閣議決定-幼児期からの人間力向上のための教育を重視し、青少年の育成及び体験学習を推進することが盛り込まれた 総務省統計調査結果発表65歳以上初の総人口の2割先進国の最高水準 政府食育推進会議保育関係者まじえ初会合 東京都の認証保育所300カ所突破 厚労省・文科省総合施設「認定こども園」(仮称)概要まとめる 厚労省関係部局長会議ー「就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律案」(仮称)を通常国会に提案することを明示 名称「認定こども園」→3/7日閣議決定 中央教育審議会答申「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方について」
	保育総合	「戦後60年の保育と課題 -明日からの保育活動の展望を拓くために-」	
平成18年度 (2006)	実践セミナー	「職種をこえた連携が生み出す新しい保育実践」	第164回国会参議院文部科学委員会「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法立案」に対する付帯決議(5/9衆議院本会議にて可決) 厚生労働省H17年人口動態統計発表ー出生率1.25 厚生労働省調査「待機児童」2万人割る 公立保育所減、民間保育所増 認定こども園スタート 厚生労働省調査認可保育所「定員超過」の状態5年連続 厚生労働省ベビーホテル保育士設置や設備8割基準に達せず
	保育総合	「今、保育実践を通して考える「子育てルネッサンス」 子ども自身の生きる力・家庭の子育て力・子どもと家庭を支える地域」	
平成19年度 (2007)	実践セミナー	「組織的な園運営について考える」	認定こども園94園(幼保連携型45、幼稚園型32、保育所型13、地方裁量型4) 3歳未満児の保育の拡充等を提言ー政府の「子どもと家族を応援する日本重点戦略検討会議」の地域・家族の再生分科会[中間報告] 厚労省「保育所の状況等」公表 私立保育所約400カ所増の1万200 公立保育所約250カ所減の1万600 厚労省、育休制度の改善に向け「今後の仕事と家庭の両立支援に関する研究会」発足 平成19年版「食育白書」公表食育の計画づくりに取り組んでいる保育所約8割 2歳児の入園、私立26.4％が受け入れ 英語に関わる活動を私立の47.6％／ベネッセ「第1回幼児教育・保育についての基本調査(幼稚園)」結 厚労省「新待機児童ゼロ作戦」発表2008年度から10年間で5歳以下の保育サービス利用児童数を100万人増の目標 厚労省、新保育所保育指針告示(2009.4施行) 新幼稚園教育要領、小中学校の学習指導要領を公示、学校教育法施行規則の一部改正省令公布(幼稚園平成21年度から実施) 厚労省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書まとめ
	保育総合	「原点回帰！そして新たな転換期「子育てルネッサンス」 子どもたちの未来を見つめ将来に向けた確かな視点をもとう」	

研修部 保育総合研修会メインテーマと保育を取り巻く社会情勢の変化対照

年度	研修会メインテーマ		保育を取り巻く社会情勢(保育所問題資料集年表より)
平成20年度 (2008)	実践セミナー	「保育の評価と保育者の学びについて考える…保育所保育指針改定をうけて」	認定こども園平成20年4月1日現在認定件数、全国で229件(内、公立55件、私立174件)幼保連携型104件 厚生労働省「改定保育所保育指針研修会」東京で開催(6月大阪で開催) 政府、初の教育振興基本計画を閣議決定—今後5年間で認定こども園2,000件の実現打ち出す 文部科学省、改訂幼稚園教育要領の趣旨説明会実施 保育所の定員212万1千人(1万5千人増加)保育所施設数、私立が公立を上回る 社会保障に関する意識調査結果—充実すべき分野「育児支援」43%トップ／08年厚生労働省白書 厚生労働省家庭的保育は就学前までに拡大を各自治体に通知 厚生労働省「保育所における自己評価ガイドライン」作成
	保育総合	「すべての子どもの健やかな育ちを求めて —今大切にしたいもの—」	
平成21年度 (2009)	園長セミナー	「明日につながる好機 Are you ready? (※保育所の社会的責務を遂行する為に必要な園長の羅針盤と哲学)」	「 保育所保育指針 」施行、 児童福祉法の一部を改正する法律施行 教員免許更新制の導入(平成19年6月教育職員免許法及び教育公務員特例法の1部を改正する法律)の成立) 平均寿命男性79.29年、女性86.05年 「子どもの幸せ」に関する初の報告書発表／OECD 教育への公的支出、日本28か国中27位／OECD「図表で見る教育09年版」公表 厚労省保育所の状況等について公表この1年間で保育所定員1万1千人増加の213万2千人、待機児童5,834人増加の25,384人(平成21年4 厚労省は、改定保育所保育指針に合わせて、保育士の養成課程を見直すため「保育士養成課程等検討会」設置、平成22年3月まで検討 政府の構造改革と区別区域推進本部評価・調査委員会は、公立・私立保育所での給食の外部調理・搬入方式について3歳以上に限定して全国 展開を決定 厚労省通知、4月から認可保育所の定員を超えて子どもを受け入れる上限を撤廃
	実践セミナー	「保育指針・保育課程について学び合う」	
	保育総合	「今、改めて保育という文化・環境を見つめ直す…すべての人々が子どもと子育てにかかわりをもつ協働の社会をめざして」	
平成22年度 (2010)	園長セミナー	「めざせ！BEST INTEREST(最善の利益)」	政府の「子ども・子育て新システム検討会議」第1回会議開催。「子ども・子育て新システムの基本的方向」が示される 保育所の感染症対策のための「保育園欠席者・発症者情報システム」保育園サーベイランスを開発／厚労省通知 厚労省、保育所関連状況とりまとめ 「待機児童」全国で2万6,275人と公表 内閣府は幼稚園と保育園を約10年の経過措置後に「こども園(仮称)」に統合する制度案をまとめ、幼保一体化WT第2回の会合で提示した 政府は「社会保障改革の推進について」(基本方針)を閣議決定子ども・子育て対策として子ども手当て法案、子ども・子育て新システム法案(仮 東日本大震災(三陸沖を震源とする巨大地震午後2時46分発生、津波による甚大な被害死者1万5,854人、行方不明者3,155人、親を失った 遺児1,600人) 厚労省は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」作成、ガイドラインQ&Aを作成、通知
	実践セミナー	「日々の実践の中で高めあう「保育の質」」	
	保育総合	「どうする日本の子育て…主体者として育ち合うために」	
平成23年度 (2011)	園長セミナー	「はじめよう！新時代を見据えた園づくり」	厚労省は「保育所における食事の提供ガイドライン」作成検討会第1回を開催 厚労省は自己注射が可能な「エビペン」(エピネフリン自己注射)を処方されている入所児童への対応について通知(平成23年3月に「保育所にお けるアレルギー対応ガイドライン」作成) 厚労省は最低基準の条例化に際し、「待機児童解消策」の1つとして保育所の面積基準の緩和を認める35自治体を地域指定 経済協力開発機構(OECD)は先進諸国の幼児教育・保育の分析結果報告書を公表、保育の質を高めるための5つの政策を提言日本調査協力 子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ(案)公表(基本制度WT20回幼保一体化WT9回こども指針(仮称)6回合計35回開催)
	実践セミナー	「日々の実践の中で高めあう「保育の質」」	
	保育総合	「「希望」という羅針盤を携えて あらためて、保育園を子どもの育ちを守る砦に！…持続発展可能な社会の構築に寄与するために」	
平成24年度 (2012)	園長セミナー	「新システム時代を見据えて、今こそ保育ビジョンの再構築を！…子どもと親と保育者が育ち合う園づくりを目指して」	厚労省は面積基準緩和する自治体35市区を省令で地域指定、2015年3月まで 全国のハローワーク担当者らを集めた研修会で、厚労省は、保育士の確保に取り組むように指示 厚労省は「平成23年社会福祉施設等調査」結果を公表 学校法人や株式会社立の保育所が増加傾向に 厚労省は「保育士養成課程等検討会」を開催特例措置についての報告案をまとめた
	実践セミナー	「保育の専門性を新たな視点で考える」	
	保育総合	「子どもの育ちを豊かにするために…今、求められていること」	
平成25年度 (2013)	園長セミナー	「学ぼう!!先輩が拓いた道に 描こう!!園の未来像」	第83回中教審初等中等教育分科会 幼保連携型認定こども園保育要領(仮称)の策定について審議要請 第1回子ども・子育て会議開催 内閣府・文科省・厚労省は都道府県を対象にした子ども・子育て支援新制度説明会を開催 国会で「子どもの貧困対策の推進に関する法律」成立 第4回子ども・子育て会議基準検討部会開催 小規模保育事業についてとりまとめ 第10回子ども・子育て会議第11回子ども・子育て会議基準検討部会合同会議開催「地域保育事業について」「地域子ども・子育て支援事業につ いて」「確認制度について(運営、運営基準)」「幼保連携型認定こども園の認可基準」についてとりまとめ
	実践セミナー	「“子どもの育つ力を支える保育”を考える＝インクルーシブの視点から＝」	
	保育総合	「子どもたちの未来のために 今こそ“保育のグランドデザイン”を！！」	
平成26年度 (2014)	園長セミナー	「子どもの最善の利益を追求する園創り」	経済協力開発機構(OECD)が2012年の国際学習到達度調査(PISA)における「問題解決能力」の調査結果を公表自己評価が低いという特徴も 浮かんだ 総務省は子どもの人口が33年連続で減少、15歳未満1633万人は総人口比12.8%と発表 日本創成会議は2040年までに20～39歳の女性が半減すると発表
	実践セミナー	「“子どもを人としてみる”まなざし…体験を通して学ぶ」	
	保育総合	「今、あらためて、子どもの最善の利益を考える…すべての子どもが大事にされ健やかに成長できる社会を目指して」	

研修部 保育総合研修会メインテーマと保育を取り巻く社会情勢の変化対照

年度	研修会メインテーマ		保育を取り巻く社会情勢(保育所問題資料集年表より)
平成27年度 (2015)	園長セミナー	「新制度時代の保育と教育の在り方」	子ども・子育て支援新制度施行 少子化社会対策大綱～結婚, 妊娠, 子供・子育てに温かい社会の実現をめざして～ 東京都人材不足を補うために「子育て支援員」の養成を開始 政府が「少子化社会対策白書」を閣議決定。女性の平均初婚年齢は13年時点で29.3歳、第1子出産時の平均年齢は30.4歳
	実践セミナー	「これからの時代に求められる保育・教育の姿を「環境」の視点から考える」	
	保育総合	「乳幼児期の学びとは何か～これからの保育が担うべき福祉と教育～」	
平成28年度 (2016)	園長セミナー	「園長が取り組む“保育のグランドデザイン” ～ 保育を哲学し、新たな時代へのビジョンを描くために ～」	保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築に関する調査研究協力者会議 保育士養成課程検討会による保育士養成課程の見直し 保育所等利用待機児童数調査に関する検討のとりまとめ
	実践セミナー	「保育の記録を通して日々の保育を見つめ直す ～明日からの保育を楽しむために～」	
	保育総合	「子ども・保護者・保育者が輝く日本の保育を求めて～実践と研究の交わる場所～」	
平成29年度 (2017)	園長セミナー	「園長のリーダーシップこそ明日への第一歩」	企業主導型保育事業 処遇改善等加算Ⅱ 新しい社会的養育ビジョン 保育所における感染症対策ガイドラインの見直し検討会 保育所児童保育要録の見直し検討会
	実践セミナー	「新指針・要領を保育実践に生かすには …保育の中の「幼児教育」と日々の保育を照らし合わせて」	
	保育総合	「保育・教育の原点、そして未来 …指針・要領の改定(訂)の意義とキャリアパス構築を見据えて」	
平成30年度 (2018)	園長セミナー	「保育をみんなで磨き高め合うために―多面的な視点から園長のあり方を考える―」	改定保育所保育指針施行 改訂幼保連携型認定こども園教育・保育要領施行 改訂幼稚園教育要領施行 保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会
	実践セミナー	「主体的な生活とあそびのあり方を探る～新指針・要領から読み解く 乳幼児期の「保育・教育の本質」を考える～」	
	保育総合	「保育・教育の原点、そして未来 …指針・要領の改定(訂)の意義とキャリアパス構築を見据えて」	

保育国際交流運営委員会 平成24年度～30年度全国大会分科会参加者数推移

年度	テーマ	定員設定	参加者数
平成24年度(2012)	自尊感情や自己肯定感を育てる保育 …ハンガリーの保育実践から学ぶ	60	60
平成25年度(2013)	自尊感情や自己肯定感を育てる保育 …ハンガリーの保育実践から学ぶ Part2	60	114
平成26年度(2014)	自尊感情や自己肯定感を育てる保育 …ハンガリーの保育実践から学ぶ Part3	60	89
平成27年度(2015)	自尊感情や自己肯定感を育てる保育 …ハンガリーの保育実践から学ぶ Part4	60	62
平成28年度(2016)	一人ひとりを大切にする具体的な保育 …ハンガリーの保育実践から学ぶ Part5	80	97
平成29年度(2017)	一人ひとりを大切にする具体的な保育 …ハンガリーの保育をヒントにした日本での保育実践	100	144
平成30年度(2018)	保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領を実施 するための一人ひとりを大切にする具体的な保育 …ハンガリーの保育をヒントにして	120	190

保育・子育て総合研究機構 委託研究の変遷

年度	委託研究内容
平成18年度(2006)	中間報告「新しい保育所保育指針作成への提言」
平成19年度(2007)	「乳幼児の育児と生活に関する実態調査」
平成20年度(2008)	「次世代育成支援後期行動計画策定についての調査研究」
	「1、2歳児保育の現状調査」
平成21年度(2009)	「次世代育成支援後期行動計画策定について調査研究」
平成23年度(2011)	ブックレット「保育の質を高めるための取り組みの具体的提案」
平成25年度(2013)	報告書「1、2歳児保育の現状と課題」—子どもが主人公になれる保育—
平成28年度(2016)	「0、1、2歳児保育に関する調査研究事業(「音を含めた人間の応答の研究」)」
平成29年度(2017)	近代以前の子ども・子育てに関する調査研究
	近代以前の子ども・子育てに関する調査研究
	ローカル・ガバナンスによる地域福祉に関する調査研究
	保育者の質的キャリアアップ、キャリアパスに関する調査研究
平成30年度(2018)	倉橋惣三から津守眞へ 実践と思想を結ぶ保育学の研究 委託研究者:西隆太郎氏(ノートルダム清心女子大学)
	「自由な主体」が育つための保育実践に関する調査研究 委託研究者:山竹伸二氏(大阪経済法科大学)
	人口減少社会における保育を支える地方自治体のあり方に関する研究 委託研究者:伊集守直氏(横浜国立大学)

※保育・子育て総合研究機構の前身とも言うべき「全国私立保育園連盟経営強化委員会」(1998年度「保育園経営ビジョン研究会」から改組、2004年度解散)は、2002年度に提言「経営強化は保育の質から～共異体という新しい関係性」を刊行した。